

教室だより

佐渡市立金井小学校
佐渡ことば・こころの教室
平成26年11月28日
第806号

〒952-1209 佐渡市千種丙 178 番地 1
TEL : 0259 (63) 4156 (直) 4115 (代) FAX : 4117
<http://kanai-es.sado.ed.jp> E-mail : skotoba@sado.ed.jp



年間で一番長い2学期は、遠足やマラソン大会、文化祭といった大きな行事がありました。その疲れなのか、それとも寒くなり、気温が下がってきたからなのか、風邪をひいている子の姿を多く見掛けます。2学期も残りわずかです。健康に気を付けてお過ごしください。

新生児聴覚スクリーニングについて

佐渡総合病院耳鼻咽喉科
馬場 洋徳

新生児聴覚スクリーニングは、乳幼児難聴の早期発見と早期療育を目的に行われており、佐渡市では2013年7月より導入となりました。開始から2014年10月時点で約94.2%と高い実施率(全国平均約60%程度)となっています。これも保護者や医療従事者、教育関係者などの難聴に対する高い関心と理解があつての結果と思われま

す。先天性難聴は、出生1000人に対して1～2人の割合といわれています。以前は2～3歳で発見されていましたが、現在は約60%が生後1～2か月で発見されるようになりました。早期発見されることで早期療育へもつながります。スクリーニング開始前と比べ、難聴の発見年齢が早い方がより高い言語力を身に付けることも分かってきています。

スクリーニングの問題点としては、有料である点が一つ挙げられます。米国や台湾などでは無料で実施されており、今後さらに社会の難聴への理解と行政支援の強化に期待がされます。



研修会に参加して

「舌の役割は？」と問われたら、多くの人はまず「味覚」と答えることなのでしょう。私たちが食べ物を味わって食べられるのは、舌にその機能があるからです。舌は味を感じるだけでなく、食べ物をのどに送り込む働きもしています。そして、もう一つ、舌には構音の機能があります。私たちは舌の動きによって発音していますが、舌の動きには人によって癖があります。それが発音に影響している場合があります。

過日、口腔筋機能療法を取り入れた構音指導について学ぶ機会がありました。言葉を聞くと難しそうですが、やることは、べろのトレーニングやリップエクササイズです。舌や口唇及び顔面など、口のまわりの筋肉を強くしてバランスをよくし、正しく機能させるための訓練です。私も指導の中に取り入れていますが、指導技能を高めていくことの大切さを改めて実感しています。

また、構音指導も教科指導同様、成果を上げるためには、子どもの意識や意欲が大きくかわってきます。指導の中での小さな変化を見逃さず、子どものがんばりを認め励ましている指導者の姿に学ぶところが多くありました。(齋藤)



親の会コーナー



会員の声 No.61

ことばの教室への感謝の気持ちと期待 O・M (両津地区)

我が子は先天性の難聴のため、補聴器を付けています。小学校へ入学するまでは、新潟聾学校で学び、単語ひとつを聴き取ること、発音すること、言葉を正しく使えるようになることの難しさを痛感しました。

小学校に入学してからは、授業や学校生活の中で、容赦なく新しい言葉を浴びることになり、不安でいっぱいでした。しかし、先生方や友だちのおかげで楽しく学校に通い、現在5年生となりました。

ことばの教室では、我が子の弱点を見つけることができ、また、難聴に対する受け入れや対応、補聴器の相談に乗っていただいています。これからも、我が子が専門的な指導を受けて、弱点を克服していき、可能性を広げていけることを願っています。

お知らせコーナー



第2回運営会議が開催されました

第2回運営会議が、11月19日に金井小学校で行われました。

今回は、事業の中間報告と来年度の計画等について話し合われました。

関係者の皆様からは、当教室の運営について貴重な御意見をいただきました。大変ありがとうございました。



「第2回なかよしチャレンジ」の御案内

この度、「第2回なかよしチャレンジ」を計画しました。「参加させたいけど、金井小は遠くて…」という皆様の御要望にお応えして、羽茂地区を会場としました。

子どもたちの社会性の向上を目指し、小集団での話し合いや協力することなどを体験する大変よい機会です。お誘い合わせのうえ、多数の御参加をお待ちしております。

- ◆日時 平成26年12月22日(月) 14:50~16:20
- ◆会場 羽茂農村環境改善センター(羽茂地区公民館)
- ◆内容 グループの友達と協力したり、コミュニケーションを取ったりしながら、各教室のゲームや遊びに参加する。